



1946-1952

戦後の物不足の時代で、 勉学と体力を養う事が当時の校風！



昭和25～26年頃のサッカー部。

後列・10期立花・9期旧谷・ブーフレル先生・黒木先生・9期鎌田邦彦・10期門田・10期鈴木昭

少年期のクラブ活動時代

第9期生は昭和27年3月に高校を卒業しており、年齢で言えば今年60才、今度は会社を卒業する方が大半を占めるのではないかと思います。

その頃の当校の概要は、写真にある様に、本校舎と西側に延びる2階建ての木造校舎、神父さんの宿舎、下のグラウンドは講堂兼体育館、その東側に体育の道具入れ、最下段のグラウンドは、山を切り開いた状態で南側には山が残り、西側は谷がそのままで現在のテニスコートはまだ出来ていなかったのです。本校舎の裏は山が迫っていま

した。

第9期卒業時人員は2組50名弱だったと思います。理由は戦後教育制度改革で、現在の6・3・3・4制に移行した時に当たり、中学を卒業して他高校へ転校した生徒が多かったからです。従って第9期のサッカー部員は、私と旧谷友久君の2名でした。写真を見ていただければおわかりですがサッカー部全員はこれで試合が出来るのかという程度でした。昭和25年頃はまだ戦後の物不足の時代で、食糧、交通その他色々の困難な事情があり対外試合はほとんど行われていなかったのが実情です。例えばユニフォームも無く、サッカーシューズを購入するのが大変

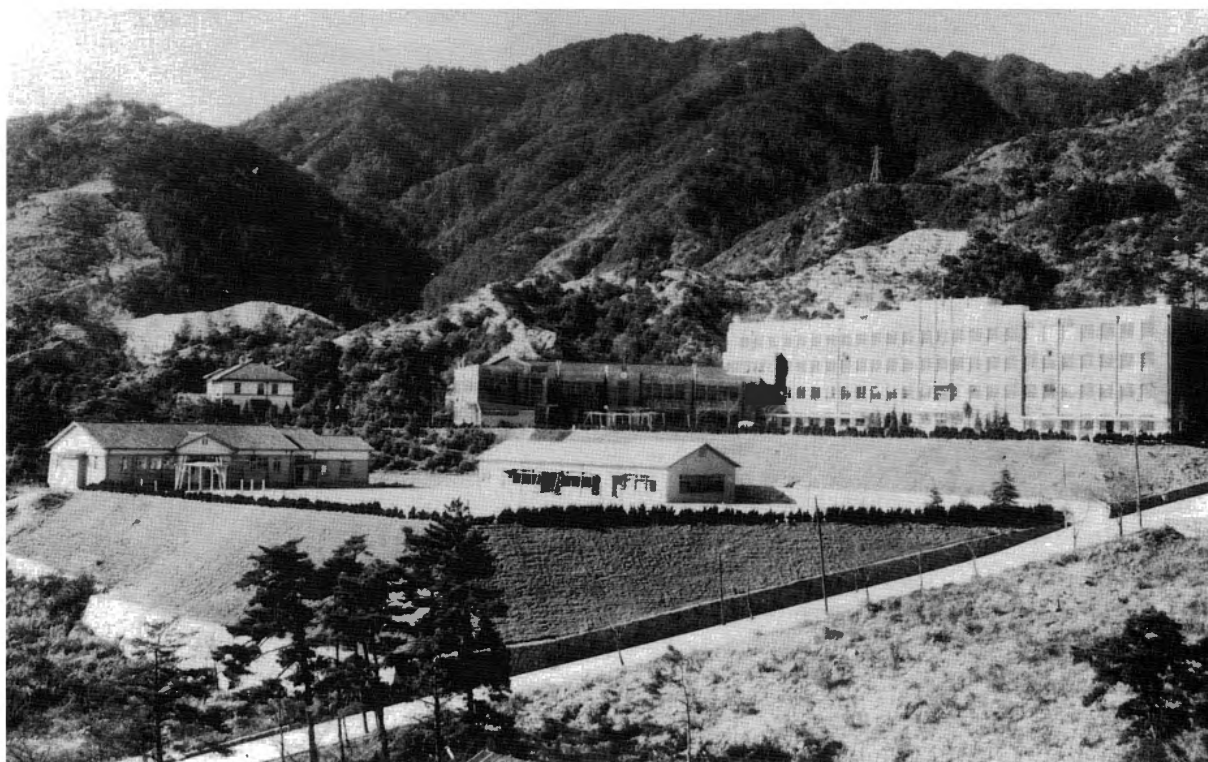
な時期でした。それよりも勉学と体力を養う事が武宮校長以下当時の校風だったと思います。然し戦後社会経済の復興は徐々に良くなって行きました。第10期以降は生徒数も元に戻り、サッカー部員も良き先輩?の下に集まって来ました。私は勤務の移動で東京に移り全くご無沙汰状態が続いております。当時と現在では、学内設備規模、生徒諸君も大変な様変わりだと思えます。今後当校及びサッカー部の増々の繁栄を期待する次第です。以上簡単ですが、当時を思いながら書かせていただきました。

〔鎌田 邦彦〕



昭和24年9月7日、洲本実業との対戦時。於、西宮第3グラウンド

後列・7期小倉隆之・7期水谷五郎・7期小椋哲弘・7期藤岡輝行・7期土井清・7期谷田正・7期宮原敏行・9期鎌田邦彦
 前列・9期平本義明（ピンチヒッター）・9期旧谷友久・10期松浦基之・7期安田宏



昭和23年頃、最下段のグラウンドはまだ出来ていない。